

参加料	
早期割引料金 〈6月13日(木)まで ※キャンセル不可〉	
会員(正会員・事業所会員) JMA法人会員・協賛団体会員	一般価格
14,040円(税込み) <small>(本体価格13,000円 消費税1,040円)</small>	16,200円(税込み) <small>(本体価格15,000円 消費税1,200円)</small>
通常料金 〈6月14日(金)~当日 ※キャンセル可(下記規定)〉	
会員(正会員・事業所会員) JMA法人会員・協賛団体会員	一般価格
16,200円(税込み) <small>(本体価格15,000円 消費税1,200円)</small>	18,360円(税込み) <small>(本体価格17,000円 消費税1,360円)</small>

※「早期割引」申込み分のキャンセルは、ご容赦ください
※上記参加料にはテキスト代・昼食代が含まれています

●会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください
http://www.jipm.or.jp/memberlist/
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会HP
https://www3.jma.or.jp/jma-member/list_new/n_member_list.php
一般社団法人 日本能率協会HP

会員以外の方は、この機会にぜひ当会へのご入会をご検討ください

ご注意・お願い

・天変地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等のサービスの停止、官公庁の指示等の、当会が管理できない事由によるイベントの内容変更・中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
・録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします

会場案内の地図は、受付票・請求書をお送りする際に、同封いたします

参加申込み方法

・下記申込み書に必要事項を記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。電話での申込みは受け付けておりません
・開催の約2週間前より、派遣窓口担当者様あてに受付票・会場案内と請求書を送付します。請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は貴社にてご負担ください。また、お支払いは原則として開催後1ヶ月以内にお断りいたします

お申込み先

●申込みの確認は、TEL 048-470-3710までお願いいたします
株式会社アイ・イーシー 通信教育・セミナー受付センター
FAX:048-470-2702
※当会ではセミナー・イベントの申込手続きに関する業務を株式会社アイ・イーシーへ委託しております

お問い合わせ先

●内容についてのお問い合わせは、中部事務所までお願いいたします
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 中部事務所
TEL:052-561-5634
Mail:jipmchuubu@jipm.or.jp

キャンセル規定

・参加予定の方が当日参加できない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けます(キャンセルはファクシミリでのみ申し受けます)
・開催当日および前日の参加取消し...参加料全額(参加料入金済の場合、返金いたしません)
・開催の2日前~7日前の参加取消し...参加料の30%(参加料入金済の場合、70%を返金いたします)
*いずれも土日曜・祝祭日を含みません

【活動事例発表会】とは 日本プラントメンテナンス協会では、1973年より毎年6月を「全国設備管理強調月間」として、設備管理意識の啓発・高揚に努めております。この一環として全国7地区8会場にて活動事例発表会を開催します。本大会では、日頃のモノづくり現場における改善活動の成果を企業様にご発表いただき、職場の活性化と、地域企業様の発展に寄与することをめざします。

活動事例発表会 2019 関西地区大会

【主催】公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
【後援】経済産業省、厚生労働省、環境省、愛知県、広島県、福岡県 *現在、申請中

【協賛団体】公益社団法人化学工業会、一般財団法人省エネルギーセンター、公益社団法人全日本能率連盟、一般社団法人中部産業連盟、一般財団法人日本科学技術連盟、一般社団法人日本化学工業協会、一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本産業機械工業会、公益財団法人日本生産性本部、一般社団法人日本設備管理学会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本能率協会、日本メンテナンス工業会、公益社団法人大阪府工業協会、関西化学工業協会、公益社団法人山陽技術振興会、中国地区品質経営協会、一般社団法人富山県アルミ産業協会、一般社団法人富山県機電工業会、一般社団法人富山県経営者協会、一般社団法人北海道機械工業会、地方独立行政法人北海道立総合研究機構 工業試験場、一般社団法人みやぎ工業会、山口県高圧ガス保安協会、公益財団法人やまぐち産業振興財団

変化の時こそ現場の力がものを言う!!

2019年
6月28日[金]

10:15-16:30

会場 **京都テルサ** (京都市南区)

プログラム
PROGRAM

▶ 事例発表 2会場14事例

▶ 特別講演
「現場が主役の潤滑管理」

RMFジャパン株式会社
潤滑技術顧問(元出光興産株式会社)
久藤 樹氏

▶ 発表者と参加者の交流会
(意見交換会)

ご発表予定企業様

旭化成、オムロン、関東スチレン(カネカグループ)
クボタ、神戸製鋼所、サントリープロダクツ
敷島製パン、積水化学工業、東レ、日本製鉄



(50音順)

(注)太線の枠内をご記入ください 請求書と受付票は、派遣窓口担当者様あてに送付いたします。それ以外をご希望の場合は備考欄にご記入ください。

MA-1013 活動事例発表会 2019 関西地区大会		開催日: 2019年6月28日(金)	
<input type="checkbox"/> 内にレ印でチェックをお入れください <input type="checkbox"/> 会員(正会員・事業所会員) <input type="checkbox"/> 協賛団体会員 <input type="checkbox"/> JMA 法人会員 <input type="checkbox"/> 一般		備考欄 (連絡・希望事項・協賛団体名)	
ふりがな		ふりがな	
会社名		事業場名	
所在地	〒 -		
	TEL () -	FAX () -	
ふりがな		所属 役職名	
派遣窓口 担当者名			
E-mail	@		
※上記参加料にてご確認ください			
@	円(税込み)	×	名
合計		円(税込み)	
		2019. 4	
受 付	登 録	発 送	

参
加
申
込
書

●個人情報の取扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(http://www.jipm.or.jp/)をご覧ください。

A 会場（東館 2 階）

B 会場（東館 3 階）

10:15 ～ 10:25	開会あいさつ			
10:25 ～ 10:45	事例① 工務・保全 ジャケット付ステンレス製タンクの腐食対策 東レ株式会社 滋賀事業場 工務部 工務保全課 堀 正人	ジャケット付きステンレス製タンクにおいて、ピンホールによる冷却水漏れのトラブルが発生した。トラブル解決のために仮説・検証を繰り返し行い、微生物による腐食と断定。タンクの耐食性を向上させることに加え、微生物の活動抑制に着目した対策を実施した事例を紹介する	事例① 運転・製造 自分たちで築く安全・快適職場へのチャレンジ サントリープロダクツ株式会社 宇治川工場 調合部門 町田 敦	“人の安全と健康はすべてに優先する” 考えを元に、ハザードリストの整備から災害モード別総点検と改善をおこない、さらに職場特性からの独自視点で“重筋・作業負荷” 低減にも取り組み職場の改善につなげた事例を発表する
10:50 ～ 11:10	事例② 運転・製造 ビジュアルKYTによる労働災害未然防止活動 敷島製パン株式会社 大阪昭和工場 製造三課 菓子パン 7 係 PSS ライン係長 南本 洋二	大阪昭和工場では2017年度に労働災害が多発し対策が急務であった。作業員目線、管理者目線で現場の不安全行動・個所に黄エフをつけ、ハード面の改善と、作業員の安全に対する意識向上を図る為、“ビジュアルKYT” を作成・活用してソフト面の対策を行った活動を説明する	事例② 運転・製造 小集団改善活動による借用倉庫削減の取組み 関東スチレン株式会社 (カネカグループ) 尾島工場 製造班 班長 塩島 直斗	尾島工場は2017年10月「モノづくり改善活動のベースをつくり上げ、自立した改善活動に繋げることを目標に全員参加の3S小集団改善活動をスタートした。現場の3S活動による整理・整頓、作業場のレイアウト変更、生産計画の見直しによって、借用倉庫の削減までこぎつけた取組み事例を紹介する
11:25 ～ 11:45	事例③ 工務・保全 『設備保全』時間管理から状態管理への挑戦！ 株式会社クボタ 阪神工場 武庫川事業所 設備技術課 営繕グループ 牧井 将太	工場における重要設備の保全はこれまで故障実績から割り出した時間で“定期保全”をおこなってきた。今回、設備状態の把握により最適なタイミングで“予知保全”を行い“保全コストの低減”に挑戦した事例を紹介する	事例③ 工務・保全 7線材工場 HMD誤動作によるミスロールの撲滅 株式会社神戸製鋼所 神戸製鉄所 設備部 設備室 伊藤 功次	高品質の線材製品を安定的に生産すべく、HMD(熱鋼検出器)の動作不安定状態の検出と発報を行うとともに、自動的にバックアップ制御へ移行することでライン上の生産工程を継続させるプログラムを構築した事例を紹介する
11:50 ～ 12:10	事例④ 工務・保全 電気亜鉛めっきライン 溶接機安定化対策 日本製鉄株式会社 広畑製鉄所 設備部 機械整備室 めっき・電磁機械整備課 班長 佃 修一	鋼板を溶接する溶接機において溶接温度不良によるライン停止トラブルが発生していた。原因が溶接電極輪の真円度不良・径不均一によるものであることをつきとめ、研磨方法や圧着方法の改善により、トラブル低減に加え電極輪の延命化を達成した事例を紹介する	事例④ 工務・保全 調節弁の予知保全技術確立によるロス削減への挑戦 旭化成株式会社 生産技術本部 設備技術センター 守山設備技術部 守山電計技術課 浅見 健太	弊社熱風循環系で使われている調節弁は、半年毎に系列停止させて定期整備を実施している。従来、予防保全として健全な弁を含めた対象弁一括の整備をしていたが、IoT技術を用いて弁の作動不具合の予兆を掴み、生産機会損失削減と整備費用削減を図った。その事例を紹介する
12:10 ～ 13:00	昼 食 休 憩			
13:00 ～ 13:20	事例⑤ 運転・製造 インフレーションパブルのパンク削減による現場安定化 旭化成株式会社 製造統括本部 鈴鹿製造所 製造第二部 フィルム製造課 第二製造係 篠原 良太	インフレーション延伸法における最大の課題は、パブルの破断(パンク)である。設備立上時に頻発するゲルによるパンクに対し、設備立上方法の最適化を行うことでパンク削減を達成し、生産性や安全性を向上させた事例を発表する	事例⑤ 運転・製造 ロスの見える化による労務費差異の改善 敷島製パン株式会社 パスコウエストカンパニー大阪豊中工場 生産管理グループ チーフ 松原 弦	当工場は“労務費差異(労務費におけるあるべき姿と実際の差)”が大きく不利差異に働いていた。時間のロスを見える化するツール「山積みグラフ」を使用し、ロスを洗い出し削減することにより労務費差異を改善した事例を説明する
13:25 ～ 13:45	事例⑥ 運転・製造 ラップラウンドケーサー 成形不良・調整停止“0化” サントリープロダクツ株式会社 高砂工場 包装技術グループ 課長 杉山 良太	ラップラウンドケーサーの停止の多くを占めるケース成形不良の0化を目標にし、加工点解析によりケース成形に影響する部品を総点検する事で不具合の復元、改良保全を行った事例を紹介する	事例⑥ 工務・保全 管理システム導入による保全ロス削減 株式会社クボタ 堺製造所 生産技術部 エンジン生産技術課 大前 和太	加工・組立・検査など多種多様な装置・設備に加え台数も多いラインを少人数で保全している部門の問題点を解決するため、システムを導入し“データによる見える化”をはかり“ロス削減”した事例を紹介する
13:50 ～ 14:10	事例⑦ 人材育成 管理監督者の海外TPM人材強化活動(広州) オムロン株式会社 京都事業所 グローバルものづくり革新本部 人材開発部 主査 井上 貴弘	従来、本社部門が行う海外人材育成は、現地の日本人マネージャーからの依頼を受け、研修というスタイルをとることが多かった。過去数年間、この形で行ってきたが、現地で自律化させたいという思いと裏腹に、将来を期待する優秀なメンバーが辞めていく。なぜか？その課題をクリアするには、現地人マネージャとの Face to face の議論が必要であり、管理・監督者の保全に対する重要性を理解するところに重点をおかなくてはならないことに気づき、指導すべき対象を変えた。その取組み時の課題を共有したい。	事例⑦ 運転・製造 エスロンRCP『属人化工程“ゼロ”』への変貌 積水化学工業株式会社 栗東積水工業株式会社 製造部 小山賢太郎	FRP複合管の製造工程は、材料工程と研削工程がベテランの『属人化工程』となっており、若手への技術伝承が難しい状況だった。長年の課題であった「シュート交換作業」と「研削調整作業」の設備化、自動化で作業の『誰でも化』を達成したので紹介する

14:25～15:25 (A会場)

特別講演

現場が主役の潤滑管理

RMFジャパン株式会社
潤滑技術顧問(元出光興産株式会社)



久藤 樹氏

15:30～16:15 (B会場)

発表者・参加者の交流会

発表者と参加者の質疑応答・意見交換・情報交流を目的とした時間です(当日は名刺をご持参ください)

16:15～16:30 (A会場)

表彰式

第47回全国設備管理強調月間入選者の表彰、「優秀改善賞」「奨励賞」の発表・表彰

全国設備管理強調月間 関西地区実行委員(敬称略)

委員長	株式会社 カネカ	岩澤 哲	大阪ガス 株式会社	西田 正平	日本製鉄 株式会社	廣田 大輔
			株式会社 クボタ	鳥飼 雅幸	株式会社 日本触媒	西村 武
			グンゼ 株式会社	阿武 克也	パナソニック 株式会社	
副委員長	株式会社 カネカ	田部 章二	住友化学 株式会社	近藤 幸隆	エコソリューションズ社	井口 雅之
	株式会社 神戸製鋼所	多比良 知秀	住友電気工業 株式会社	千田 裕彦	パナソニック 株式会社	
	株式会社 ダイセル	和泉谷 博雄	積水化学工業 株式会社	平子 雅彦	アプライアンス社	熊本 泰
	東レ 株式会社	山中 淳	ダイキン工業 株式会社	山本 孝雄	三井化学 株式会社	山下 勝哉
			日本製鉄 株式会社	迫田 明之		

2019年5月1日現在